

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	49	外出レクが少ない(遠くに行く事が無い) 天気の良い日は施設の周辺を散歩するが、ご利用者様が限られている	季節毎に外出する機会を提供出来るように計画、実行する	季節に応じた年間計画を作成して実行する ご家族にも支援を求めるが、全員参加は厳しい	18ヶ月
2	2	グループホームは地域密着型と言われるが、地域との交流が少ない	地域の行事スケジュールでサロン活動、サークルなどを把握してご利用者様と一緒に参加する 1階の地域交流室を利用して地域住民を含めた集まりの場やサロン活動を行う	広報を見てイベントを把握する 運営推進会議などを通じて地域の活動を知る 社会福祉協議会に支援を頂き、ボランティア行事を定期的に行って頂く	15ヶ月
3	48	ご利用者様の好みを把握していてもその通りに提供できていない	ご利用者様の好みにあった食事、おやつを提供を起案して実行する 心地良い雰囲気提供	ご利用者様の好みを伺って定期的に提供する 具体的には焼きそば、お好み焼き、ホットケーキなどを提供する 入浴時に入浴剤を入れて温泉気分を味わって頂く	18ヶ月
4	26	チームケアが十分できているとは言えない スピーチロック、転倒などの事故が少なくない 認知症ケアの理解	チームケアの探求と事故の削減 事故は50%削減を目標とする 10件→5件 スピーチロックを中心に改善を図る これからのグループホームのあり方を考える(重度化、看取りなど)	事故についてはヒヤリハットの活用により削減の切り口を見出す スピーチロックは身体拘束委員会などを通じて事例を作成、共有化を図り、実践に繋げる 施設内外の研修、勉強会によりスキルアップを図る	12ヶ月
5	35	夜間を想定した防災訓練が実施されていない	夜間想定での防災訓練を実施する	消防署や地域の自衛消防隊などに協力を得て実施したい	8ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。